

令和3年度 ひいらぎこども園 事業報告書

1 成果と課題

(1) 新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組状況

① 感染状況

	園児		保育者		休園	学年閉鎖		学級閉鎖		私用欠 延べ 人数
	感染 者数	濃厚接 触者数	感染 者数	濃厚接 触者数	日数	学年数	延べ 日数	学級数	延べ 日数	
2021年8月20日 ～9月30日までの 緊急事態宣言期間	1人	2人	0人	15人	1日	0	0日	0	0日	514人
2022年1月27日 ～3月21日までの まん延防止等重点 措置期間	28人	74人	15人	3人	0日	2 学年	5日	5 クラス	20日	1,242 人

② 感染防止の工夫

- ・縦割り活動を中止・できる限りクラス又は学年で活動
- ・幼児の食事は学年ごとに時間制とし、ランチルームとホールに分かれて実施
- ・幼児の食事時には、テーブルにパーテーションを設置
- ・職員は、子どもと離れた場所、又は時間をずらして食事
- ・職員会議は、ホールで換気をして実施
- ・2022年2月から3、4、5歳児がマスク着用（それまでは4、5歳児のみ）
- ・バスに乗る時には、マスクを着用・座席指定・窓を少しずつ開けて換気
- ・環境整備員を2名雇用し、手すり・取手・床などを常時消毒
- ・0、1、2歳児に各1台スチームクリーナーを購入し、床の消毒を毎日実施

③ 行事の工夫・中止

- ・年長琵琶湖水遊び、ほっこりくらぶとの交流は中止
- ・ひいらぎキャンプ→デイキャンプに変更
- ・夏祭り→3日間に分けて開催（従来は1日）
- ・運動会→日程変更、保護者2名参加で実施
- ・作品展→乳児は動画配信、幼児は活動の様子をまとめた冊子を配布
- ・発表会→動画配信（乳児は普段の遊び・幼児は1年間でできるようになったこと）

④ 園児への影響

- ・仲間とふれ合い、じゃれ合い、一緒に活動することで刺激をし合って成長すると

いう当たり前の日常が困難となった。

- ・その反面、じっくりと、自分の興味あることに取り組む姿が見られた。
- ・0歳児・1歳児は、マスクをしている保育者の顔しか見たことがないので、コミュニケーション能力や咀嚼能力の発達に問題がないか心配である。
- ・異年齢活動を中止していたため、小さい子どもを愛おしく思い、大切にしようとする気持ちを表現する機会が持ちにくかった。

(2) 保育・教育の充実・改善の取組

- ・園内研修の充実→食育（咀嚼）・安全対策・カリキュラムマネジメント・エピソード記述

(3) 教育環境の整備

- ・わくわくひろばの環境整備
（トンネルのある築山・京都府木材を使った遊具
を設置・鉄骨がむき出しであった擁壁の修復工事）
→育った資質・能力
挑戦する心・粘り強く頑張る気持ち・思いやりの心
脚力・自ら危険を回避する力・バランス感覚



(4) 保護者支援

- ・個人懇談を随時実施
- ・動画配信による保護者への「幼児期の遊びと学び」についての啓発

(5) その他

- ・京都府監査による調理室の衛生管理の指摘を受けて、専門家の助言・指導をもとに調理室の衛生管理の見直しを実施

2 施設運営方針の実施状況

- (1) コロナ禍においても、安心・安全な保育・教育環境を保障できるよう取り組み、保護者はもちろん職員の精神的な安定に寄与する。 ⇒△
- (2) 保護者・地域と協力して、子どもたちの命を守り、心を育み、成長を見守る。 ⇒○
- (3) 法人理念をまず職員が実感できるような「働きがいのある、働きやすい職場作り」に引き続き努力する。 ⇒○

3 年間教育・保育日数

1号認定	237日（年長児は232日）
2・3号認定	288日（年長児は289日）

4 利用者

(1) ひいらぎこども園（本園）在園児数

歳		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
0歳	標準	20	20	23	23	23	25	25	26	26	26	26	26
	短時間	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
1歳	標準	38	40	40	39	38	38	39	38	37	37	37	37
	短時間	4	2	2	3	4	4	3	4	5	5	5	5
2歳	標準	36	35	35	35	35	34	33	33	30	29	29	29
	短時間	5	6	5	5	4	4	5	5	8	9	9	9
満3	1号	0	0	1	2	2	3	3	3	3	3	3	3
3歳	1号	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	標準	40	38	39	38	37	38	37	38	38	38	38	38
	短時間	1	3	2	3	4	3	4	3	3	3	3	3
4歳	1号	3	3	3	3	3	3	3	4	4	4	4	4
	標準	40	41	40	40	40	40	40	40	40	40	40	40
	短時間	2	1	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1
5歳	1号	4	4	5	5	5	5	6	6	6	6	6	6
	標準	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42	42
	短時間	2	2	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0
合計		239	239	242	242	242	244	244	245	245	245	245	245
平均在園率 (%)		96.4	96.4	97.6	97.6	97.6	98.4	98.4	98.8	98.8	98.8	98.8	98.8

(2) 一時預かり事業利用者数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
人数 (人)	10	28	32	30	34	14	14	18	36	28	0	15
保育日数 (日)	21	18	23	20	19	19	20	20	20	18	18	21
1日平均 (人)	0.5	1.5	1.4	1.5	1.8	0.7	0.7	1.8	1.5	1.5	0	0.7
合計	269人(1日平均1.1人)											

(3) 子育てサポート事業利用者数

	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
リトミック (組)		中止	4		中止		3		中止		
運動あそび (組)						4					
一時預かり (人)	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	
園庭開放 (組)							1	2	0	0	0
計	0	0	4	0	0	4	4	2	5	0	0
総計	19組										

※緊急事態宣言・まん延防止等重点措置期間、やむなく中止した回や、予定していても参加者0人の回があった。

5 職種別職員数 (令和4年3月31日現在)

職 種	園長	副園長	主幹保育教諭	指導保育教諭	保育教諭	S W	保育補助	看護師	栄養士	調理員	警備員	事務員	用務員	ボランティア	合計
正規職員	1	1	1	1	33			1	1	1		1			41
パート職員					16	1	2	2	0	2	1	0	2	1	27
合 計	1	1	1	1	49	1	2	3	1	3	1	1	2	1	68

(正規保育教諭の内1名は育児休暇)

6 小学校との接続

(1) 連携行事の中止等

平成28年度から小学校との連携が動き始め、毎年少しずつ取組を積み重ね、4年目の令和元年度には念願であった小学校の先生による『出前授業』が実現した。しかし、新型コロナウイルス感染症拡大により、令和2、3年の2年間は、連携推進に期待していた時期であったにもかかわらず、残念ながら取組を継続することはできない状況であった。

昨年に引き続き、「入学式参列」は中止、「保幼小連絡会」は平盛小学校のみ実施された。「運動会参観」、「小学校訪問」、「出前授業」はすべて中止となった。

(2) スムーズな就学に向けて

① 情報交換と共有

例年、年長児においては、各小学校の先生が来校し、園児一人一人について、丁寧に情報交換をしている。今年度も「教育相談」を受けた年長園児について、より密に実施した。9月15日、9月28日には、各小学校の先生5名が来園、保育参観の後、担任と子どもの日頃の様子や支援について話し合った。例年は、話し合っただけで終了となるが、今年度は、園児の状況や関わり方、保護者の不安、入学してからの見通しについても情報共有を続けた。

また、1年生に限ることなく、卒園した児童の様子についても、不定期ではあるが、情報をもたらしている。

情報が常に共有できるということは、ここ2年、具体的な連携の取組を進めることはできなかったが、今までの連携の積み重ねによるものであると実感している。

② 就学支援シートの活用

配慮を要する園児は年々増加している。加配対象の園児については、個別の指導計画を作成し、保護者と年間2回の懇談を重ねている。年長児は、後期の懇談と合わせて、園独自で作成した『就学支援シート』を保護者と共に作成した。日頃の園児の様子や困りを詳細に記し、それに関わる具体的な支援を記入して、小学校に伝えている。

卒園児の母親からは、「日頃の園での支援をしっかりとシートに記入し、小学校と連携してもらっているのが、非常に安心することができ、ありがたかった」という声をいただいた。『就学支援シート』によって小学校と園児の情報を共有できることは、就学に対する保護者の安心につながっていることを確信した。

③ その他

- ・神明小学校と園だより及び学校だよりの交流（月1回）
- ・神明小学校校長の入・卒園式への出席中止

7 研究発表・実践発表

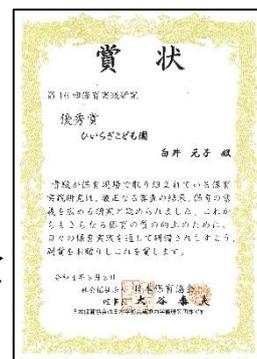
(1) 2021年度ソニー幼児教育支援プログラム チャレンジ賞

「大きな幼虫は大きなカブトムシになるのかな」中田純子

(2) 第16回 社会福祉法人 日本保育協会 保育実践研究 優秀賞

課題研究部門②遊びと学び

「3歳児の遊びと学び『むしのせかい』」白井元子



8 職員研修内容

(1) 園内研修

① リスクマネジメント研修

日時 令和3年5月13日(木) 13:30~15:00

テーマ 「こども園における事故防止対策と

一人ひとりの心構え」

講師 脇 貴志氏 (株式会社アイギス)

受講者 16名 (正規保育教諭・保育補助・パート職員)



② プール事故対応研修

日 時 令和3年6月25日(金) 13:00~14:30

内 容 クラス毎に、実際のプール活動を想定した人員配置で、人形を使っての 救助・通報・心肺蘇生訓練を実施

講 師 園長・馬場崎看護師

受講者 全担任

③ 誤嚥・誤飲対応研修

日 時 令和3年8月~9月 13:30~14:00(午睡中)

内 容 喉に物が詰まった場合の取り除き方を、人形を使って学ぶ

講 師 清原看護師・馬場崎看護師

受講者 0~2歳児担任

④ 運動遊び研修

日 時 令和3年8月18日(水) 10:00~12:00 13:30~15:00

内 容 (午前) クラスの子どもへの指導を参観しながら学ぶ

(午後) 担任からの相談に対する指導助言

講 師 杉島秀政氏(安田式体育遊び研究所指導員)

⑤ 食育研修

日 時 令和3年9月27日(月) 9:30~16:30

テーマ 「各クラスにおける嚥下や食事において気にかかる子の対応」

(昼食時) 子どもの食時場面を見ながらの指導

(午後) 担任の質問に対する指導助言

講 師 伴 亜紀氏(Graine 代表・大阪総合保育大学非常勤講師)

⑥ 運動遊び研修

日 時 令和3年10月12日(火) 10:00~11:20

13:00~15:00

内 容 (午前) 指導の実践を見て学ぶ

(午後) 関係づくりに役立つ運動遊びの体験

講 師 杉島秀政氏(安田式体育遊び研究所指導員)



⑦ リスクマネジメント研修

日 時 令和3年12月16日(木) 13:15~14:30

テーマ 「人数確認・動静把握義務」

講 師 脇 貴志氏(株式会社アイギス)

受講者 22名(正規保育教諭・保育補助・パート職員)



⑧ 食育研修

日 時 令和3年12月24日(金) 13:00~14:30

テーマ 「子どもの食べるを考える」

講 師 伴 亜紀氏 (Graine 代表・大阪総合保育大学
非常勤講師)

⑨ 研究保育

日 時 令和4年1月21日(金) ZOOM 13:15~14:45 17:15~19:10

テーマ 「子ども主体の保育の環境と保育者の関わり」

公開クラス 黄組・保育者 崎谷玲奈

指導助言 木下光二氏 (鳴門教育大学大学院教育研究科教授)



⑩ 食育研修

日 時 令和4年3月23日(水) 13:30~14:30

テーマ 「子どもの食べるを考える」(新規採用者向け)

講 師 伴 亜紀氏 (Graine 代表・大阪総合保育大学非常勤講師)

⑪ 調理室衛生管理研修

日 時 令和4年3月28日(月)・31日(木) 9:00~16:00

講 師 伴 亜紀氏 (Graine 代表・大阪総合保育大学非常勤講師)
佐井かよ子氏(食育サロン「旬」)

対象者 栄養士・調理師

(2) 派遣研修

今年度キャリアアップ研修修了者 延べ19名 26分野

9 安全衛生委員会

議 長	園長	中田純子
産業医 (4月~9月)	一般社団法人ストレスフリー未来 研究所 理事・産業医	岡本洋平
産業医 (10月~3月)	(株) Dr. 健康経営	大森直美
衛生管理者	看護師	馬場崎美代
委 員	副園長	岩岡昌子

(1) 委員会 月1回委員会開催・面談希望者はなし

(2) ストレスチェック

① 実施日 令和3年7月26日~8月2日

② 委託業社 NPO法人メンタルサポート京都

③ 受診者 67名(受験率90.5%)

④ 結 果 園の努力により、「職場環境」や「対人関係」によるストレスが少なく、職員が働きがいを感じながら仕事をしており、ストレス反応もそれほど高くない。ただ、業務分野においてストレスに差があり、それぞれ

の分野で業務量の偏りが無いのか、休暇・休息がとりたい時に公平に取れているか、支援体制が整っているかを検討していく必要がある。

10 保健室利用実績・感染症による欠席状況

(1) 病気早退延べ人数 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
乳児	20	5	25	5	5	7	4	9	6	5	4	2	97
幼児	6	1	9	1	1	2	0	1	3	1	8	1	34
合計	26	6	34	6	6	9	4	10	9	6	12	3	131

(2) 感染症による欠席状況 (人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
インフルエンザ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手足口病	0	1	0	1	0	0	5	66	14	0	0	0	87
溶連菌	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	3
アデノウイルス	0	0	3	0	1	0	0	0	1	0	0	0	5
細菌性腸炎	0	0	0	1	1	1	0	0	0	1	0	0	4
マイコプラズマ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス	6	7	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	14
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	2	10	0	0	0	0	12
突発性発疹	1	3	1	1	1	1	1	0	2	1	0	0	12
水痘	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
リンゴ病	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性嘔吐下痢症	0	0	0	1	1	0	0	1	3	11	2	0	19
新型コロナウイルス感染症	0	0	0	0	2	0	0	0	0	2	21	3	28
合計	7	12	5	4	6	4	8	77	20	16	23	3	185

11 課外教室参加者数

- (1) ピアノ・リトミック教室【1クラス30分・4クラス】(講師 伊藤嘉代氏)
月曜日 5歳児 5名 ・ 4歳児 11名 ・ 計16名
- (2) ECC【1クラス40分・3クラス】(講師 上田靖子氏)
火曜日 5歳児 7名 ・ 4歳児 14名 ・ 計21名
- (3) かきかた教室【1クラス 40分】(講師 川田道子氏)
水曜日 5歳児 17名 ・ 4歳児 2名 ・ 計19名
- (4) ジョニーのサッカー教室【1クラス 60分】(講師 松下洋亮氏)
木曜日 5歳児 13名 ・ 4歳児 12名 ・ 計25名
- (5) 剛柔流空手教室【1クラス 60分】(講師 加藤吉辰氏・加藤映彦氏)
土曜日 5歳児 2名 ・ 計2名

12 絵画作品の発表

- (1) 第81回 全国教育美術展 特選1 入選6
- (2) 第51回 京都新聞社「お話を絵にする」コンクール 佳作1

13 実習生・インターンシップ・体験学習・子育て支援員研修の受け入れ

- (1) 職場・福祉体験学習 未実施
- (2) 高校生インターンシップ 未実施
- (3) 保育実習

8月10日～24日・2月4日～16日	(20日間)	花園大学	女子1名
8月16日～27日	(10日間)	京都文教短期大学	女子2名
8月31日～9月10日	(10日間)	京都ノートルダム女子大学	女子1名
11月29日～12月10日	(10日間)	池坊女子短期大学	女子1名
2月14日～28日	(10日間)	京都ノートルダム女子大学	女子1名
- (4) 子育て支援員研修 未実施

地域保育コース「地域型保育」	未実施
地域保育コース「一時保育事業」	未実施
- (5) 支援員養成講座
11月1日・2日(2日間) 岩岡副園長

14 社会貢献

- ・ 地域への駐車場貸出(夏休み・冬休み・土曜・日曜)
- ・ 地域の一時避難場所としての、備蓄品の保管

15 苦情受付の状況

- (1) 令和3年6月3日(木)18時頃 近隣住民より
【内容】 「車をガレージにいれようとしていると、クラクションを鳴らされ、さらに罵声をあびせられた。今回だけでなく、何度もある。曲がり角に家があるので、ガレージに入れるために急に止まることになり、クラクションはしか

たないとは思いますが、罵声はやめてほしい。」と訴えがあった。

【対応】 謝罪し、すぐにメールで保護者に伝えると共に、園だよりで地域の方が気持ちよく生活できるよう協力してほしい旨、保護者に伝えることで納得して頂いた。また、警察にも相談し、登園時にパトロールをお願いし、それ以後、車の運転に関する苦情はなくなった。

(2) 令和3年8月19日(木) 17時30分 保護者より

【内容】 お迎えに来た時に保育者が園児にかけた言葉がきついと訴えがあった。

【対応】 子どもを不安にさせてしまったことを謝罪し、当該保育者の担当部署を変更することで納得してもらう。

(3) 令和3年9月23日(木) 保護者より

【内容】 保育中、「眠い」と訴えた園児に、担任が、普段足拭きに使っているバスタオル(洗濯済)を敷いて寝かせた。子どもから足ふきマットで寝たことを聞いた保護者が担任にどういうことなのかと尋ねると「布団をとりに行く時間がなかった」と返答した。保護者は「園ではそういう対応が普通なのか?」と主幹教諭に相談。

【対応】 とんでもない対応で、不快な思いをさせてしまったことを謝罪。園での全ての対応がそうではないことを伝え、当該保育者への指導と職員全体への周知徹底を伝えて納得してもらう。

16 施設整備

(1) 調理室エアコン取替工事

施行日 令和3年5月16日(日)

施行業者 株式会社 下岡建設

事業費 911,900円

(室外機からのガス漏れ)



(2) 台下冷凍室設置

施行日 令和3年6月14日(月)

施行業者 中西製作所

事業費 297,000円



(3) シェードクロス設置 (2枚)

施工日 令和3年7月1日
施工業者 株式会社 近畿
事業費 278,960円



(4) 北館西側フェンス取付工事

施工日 令和3年7月30日～8月7日
施工業者 株式会社 下岡建設
事業費 1,826,000円

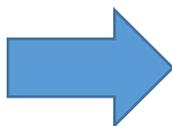
BEFORE



調理室入口



調理室西側



AFTER



(5) わくわくひろば環境整備 (擁壁を安全に修復・トンネルのある築山の設置)

施工日 令和3年8月10日～8月14日
施工業者 マルミチ設計事務所
事業費 1,999,450円 (補助金 999,000円)



17 表彰

- ・交通安全思想の普及と交通事故防止の取組

